

2011年2月10日

各位

情報コミュニケーション学会 会長 山本 恒  
第8回全国大会実行委員会 委員長 垣東 弘一

## 情報コミュニケーション学会 第8回全国大会のご案内

本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよりよい教育をおこなうために活動を行っております。

さてこの度は、2011年2月19日～20日に園田学園女子大学にて開催されます、情報コミュニケーション学会第8回全国大会のご案内を差し上げる次第です。

この全国大会は会員だけでなく広く公開された大会になっておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 記

1. テーマ 『世代とコミュニケーションベニュー』
2. 期日 2011年2月19日(土)～20日(日)
3. 会場 園田学園女子大学 30周年記念館(兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1)  
大会当日は駐車スペースがございませんので、公共交通機関でお越し下さい。
4. 主催 情報コミュニケーション学会
5. 共催 日本情報科教育学会近畿・北陸支部
6. 後援 園田学園女子大学, 明治大学情報基盤本部, 兵庫県教育委員会  
尼崎市教育委員会, ひょうごeスクールコンソーシアム, 兵庫県教育工学研究会  
兵庫県高等学校教育研究会工業部会教育工学委員会, 情報文化学会近畿支部  
教育システム情報学会関西支部
7. 日程  
【第1日目 2月19日(土)】  
9:30 受付(30周年記念館 3F大会議室)  
10:00～12:00 一般研究発表 (544教室)  
一般研究発表A メディアと学習デザイン  
座長: 横山宏(大阪電気通信大学) 鴨谷真知子(東大阪大学短期大学部)  
一般研究発表B ネットワークコミュニケーション(1)  
座長: 牧野由香里(関西大学) 太田和志(東大阪大学短期大学部)  
10:30～12:00 企画セッションK1 (543教室)  
「大学における情報科教員養成にかかわる諸問題」(日本情報科教育学会近畿・北陸支部)  
司会 佐藤万寿美(兵庫県立西宮今津高等学校)  
開会挨拶  
1. 「大学での教員養成課程における教育の情報化への対応について」  
高橋参吉(千里金蘭大学)  
2. 「情報科教員養成の実際と展望」  
西端律子(畿央大学)

3. ディスカッション「高等学校での教育の情報化の現状と教員に求められるスキルとは？」  
コーディネータ 佐藤万寿美（兵庫県立西宮今津高等学校）

10:00～12:00 企画セッション K2 （542 教室）

「子どもの情報活用能力について考えよう！」（情報コミュニケーション学会キッズ部会）  
コーディネータ 米田浩（尼崎市立園田北小学校）

1. 教員の ICT 活用指導力について  
伊藤剛和（奈良教育大学）
2. 子どもの情報活用能力について  
原克彦（目白大学）
3. ワークショップ「子どもの情報活用能力規準表を考えよう」
4. 講評 原克彦（目白大学）

13:00～13:20 総会 （543 教室）

13:30～14:50 講演 （543 教室）

演題 「技術は愛、超大画面シプラが描く未来」  
講師 篠田プラズマ株式会社代表取締役会長兼社長 篠田傳（つたえ）氏  
司会 上谷良一（兵庫県立美術館）

【講師紹介】

NHK のプロジェクト X「プラズマテレビ：愛の文字から始まった」やテレビ東京の日経スペシャル「ガイアの夜明け」でも紹介された、プラズマテレビの原点であるフルカラー PDP の開発者の篠田プラズマ株式会社代表取締役会長兼社長の篠田傳（つたえ）氏をお招きします。デジタル教科書の話で持ちきりの現在、プロジェクターや大型ディスプレイは登場したが、やがて黒板が教室の周りの壁全体がプラズマチューブアレイ方式によるディスプレイになる。そんな夢をきってお話いただけたらと思っています。

15:10～17:40 特別企画セッション「世代の“つながる”場づくり」

コーディネータ：牧野由香里（関西大学）

全体会 K3 「“つながる”場づくりの現状」（15:10～）（543 教室）

1. 「おやじ」世代の諸事情  
太田和志（東大阪大学短期大学部）
2. 「アラサー」世代の諸事情  
鴨谷真知子（東大阪大学短期大学部）
3. 「今時の若者」世代の諸事情  
白井美弥子（兵庫県立加古川北高等学校）

分科会 K4 「世代ごとの諸事情を考える」（16:10～）

K4-1 「おやじ」世代の諸事情 （544 教室）

司会 太田和志（東大阪大学短期大学部）

K4-2 「アラサー」世代の諸事情 （542 教室）

司会 鴨谷真知子（東大阪大学短期大学部）

K4-3 「今時の若者」世代の諸事情 （543 教室）

司会 白井美弥子（兵庫県立加古川北高等学校）

全体会 K5 「世代と“つながる”場づくり」（16:55～17:40）（543 教室）

分科会報告と議論

17:50～18:10 ウェルカムコンサート「三宮のジャズバー「ヘンリー」のライブステージを、園田学園女子大学で再現」  
（30 周年記念館 1F 開花亭にて）

18:10～19:40 懇親会（30周年記念館 1F 開花亭）

9:30～17:00 企業展示（30周年記念館 3F 大会議室）

【第2日目 2月20日(日)】

9:30 受付

10:00～12:00 一般研究発表

一般研究発表C 学習支援システムと授業実践 (542教室)

座長：伊藤剛和（奈良教育大学） 林徳治（立命館大学）

一般研究発表D 地域連携と情報化 (544教室)

座長：山路進（日本私学教育研究所） 津田博（近畿大学）

一般研究発表E 評価と実践報告 (543教室)

座長：植村唯邦（園田学園女子大学） 清水五男（園田学園女子大学）

一般研究発表F メディアと教育デザイン (543教室)

座長：寺尾敦（青山学院大学） 小田桐良一（園田学園女子大学）

13:00～15:00 一般研究発表

一般研究発表G 授業実践のデザイン (542教室)

座長：阪井和男（明治大学） 中野彰（武庫川女子大学）

一般研究発表H 学習における認知 (544教室)

座長：斐品正照（東京国際大学） 三池克明（信州短期大学）

一般研究発表I ネットワークコミュニケーション(2) (543教室)

座長：中村隆志（新潟大学人文学部） 山本恒（ICT活用教育研究所）

9:30～13:00 企業展示

8. 参加費等 該当する合計金額を大会当日受付にてお支払下さい。

参加費：1,000円（必須） 論文集：3,000円（希望者のみ） 懇親会費：4,000円（希望者のみ）

9. 参加申し込み

本全国大会は、会員だけでなく会員以外の方もご参加いただけます。

大会準備の都合上、以下の内容をE-mailで大会事務局(cis-taikai11@sonoda-u.ac.jp)まで、大会前にお送りください。（1参加者ごとに1メールをお願いします）

【論文集の購入、懇親会の参加】

(1)論文集購入の有無： 学会員は原則ご購入ください

(2)懇親会参加の有無：

【参加者】

(3)お名前（漢字とふりがな）：

(4)所属：

(5)E-mail：

なお、事前申込みをされていない方の参加も歓迎いたします。ふるってご参加ください。

10. 連絡先

大会事務局 園田学園女子大学情報教育センター内  
情報コミュニケーション学会第8回全国大会実行委員会まで  
e-mail: cis-taikai11@sonoda-u.ac.jp



11. 全国大会ホームページ <http://www.cis.gr.jp/>

## 【全国大会詳細】

### 【企画セッションK1「大学における情報科教員養成にかかわる諸問題」のねらい】

初等中等教育の現場においては、平成19年の学校教育法の改正や新学習指導要領への移行期に伴い、教育課程や評価基準の見直し・授業改善が進んでいる。すべての教科において言語の運用能力や表現力の育成にICTを活用したわかる授業の工夫改善が求められている。このように教育現場での「教育の情報化」進む中、教職課程における人材の育成プログラムの見直し・工夫・改善が急務である。これからの情報科教育を担う人材の育成に加え、初等中等教育の一般的な教職課程の課程における教育の情報化に対応できる人材の育成について、現場の意見と大学側の現状を突き合わせ問題提起を行いたい。

### 【企画セッションK2「子どもの情報活用能力について考えよう！」のねらい】

教育情報化推進協議会（EEAJ）が中心となり、「教員のICT活用指導力規準表」が作成されました。（平成19年度文部科学省委託事業「先導的教育情報化推進プログラム『教員のICT活用研修事業』」の中で、教員の情報教育の指導力についての規準はありますが、児童生徒の情報教育についての規準表は作成されていません。新学習指導要領完全実施に向けて、あらためて「子どもの情報活用能力」について考えてみましょう。

### 【特別企画セッション「世代の“つながる”場づくり」のねらい】

この企画セッションでは、「おやじ」「アラサ」「今時の若者」という3世代に着目し、ソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS）に見る「世代の“つながる”場づくり」について考えます。全大会K3では、中高年（30～40代）、成人（20～30代）、青年（10～20代）という切り口から、それぞれのSNS利用状況を報告していただきます。分科会K4では、世代グループごとに議論を深めます。全大会K5では、各グループの成果を共有し、「世代と“つながる”場づくり」の全体像に迫ります。

## 【研究発表】

### 【2月19日(土)（第1日目）】

<<一般発表>>

#### A メディアと学習デザイン（10:00～11:00） 544教室

座長：横山宏（大阪電気通信大学） 鴨谷真知子（東大阪大学短期大学部）

##### A-1 効果的なICT活用の提案を行うための児童の学習スタイルの分類

長谷川健治（豊中市立高川小学校）、吉川俊三（枚方市立藤阪小学校）、芝崎清治（豊中市立原田小学校）、久岡淳一（豊中市立新田小学校）、湯井康二（豊中市立庄内南小学校）、十河英俊（豊中市立野畑小学校）、堀田博史（園田学園女子大学）

##### A-2 映像制作を通して学ぶ授業のデザイン

村田雅之（東京工芸大学芸術学部デザイン学科/メディアアート表現学科）

A-3 デバイスを用いた自己像視認空間の提案

北田弥市(東京工芸大学芸術学部メディアアート表現学科), 村田雅之(東京工芸大学芸術学部デザイン学科/メディアアート表現学科)

B ネットワークコミュニケーション(1) (11:00~12:00) 544 教室

座長: 牧野由香里(関西大学) 太田和志(東大阪大学短期大学部)

B-1 情報モラル・ネット理解度に関する世代間比較 -高齢者と学生の相違点-

阿部慶賀(青山学院大学情報科学研究センター)

B-2 携帯メールにおける返信のタイミングに関する調査

四種類の感情を伝えるメッセージへの返信に注目して

加藤由樹(東京福祉大学), 千田国広(東映アニメーション研究所)

B-3 SNS における対人コミュニケーション活動の支援の現状と課題

斐品正照(東京国際大学), 三池克明(信州短期大学), 三石大(東北大学)

【2月20日(日)(第2日目)】

<<一般発表>>

C 学習支援システムと授業実践 (10:00~12:00) 542 教室

座長: 伊藤剛和(奈良教育大学) 林徳治(立命館大学)

C-1 実用性を目指したネットショップ制作演習の実践

鴨谷真知子(東大阪大学短期大学部), 佐野繭美(摂南大学), 下倉雅行(大阪経済大学), 太田和志(東大阪大学短期大学部) 松永公廣(摂南大学)

C-2 教員養成大学における履修カルテの基となるセルフアセスメント支援システムの開発

伊藤剛和(奈良教育大学)

C-3 プログラミング教育におけるモバイルデバイス活用

伊藤一成(青山学院大学社会情報学部)

C-4 学生の思考を促す CMS を用いた授業実践 - ビジネス数学基礎を例にして -

下倉雅行(大阪経済大学), 佐野繭美, 松井久実(摂南大学), 鴨谷真知子, 太田和志(東大阪大学短期大学部) 松永公廣(摂南大学)

C-5 大学授業における ICT を活用したアクティブラーニングの実践

林徳治(立命館大学), 黒川マキ(大阪学院大学)

C-6 コミュニケーション能力の向上を図る教員研修の実証研究

林徳治(立命館大学), 黒川マキ(大阪学院大学)

D 地域連携と情報化 (10:00~12:00) 544 教室

座長: 山路進(日本私学教育研究所) 津田博(近畿大学)

D-1 商店街を地域コミュニティ形成の場としてとらえた、地域と連携したクロスメディアの展開と協働の実践活動の形成について

鈴木健大, 大川恵子(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科), 牛島利明(慶應義塾大学商学部)

D-2 問題行動等に対応する NPO 法人等の連携協力モデルの提案

日本ガーディアン・エンジェルズ セイフティ・センターと北九州市の連携協力をモデルとして

山路進(日本私学教育研究所), 小田啓二, 大和田尚子, 池田尚弥(日本ガーディアン・エンジェルズ), 安藤忠, 倉田政彦(日本大学), 八並光俊(東京理科大学), 波多野和彦(江戸川大学), 清水秀樹, 山崎吉朗, 大森隆實, 谷澤英司(日本私学教育研究所)

D-3 自治体の IT 投資評価に関する実証研究

津田博（近畿大学）

D-4 京都市左京区の介護事業者「ケア・ステーションおもいやり」における介護サービスの ICT 利活用による業務改善の分析

田井義人（摂南大学経営情報学研究科）

D-5 地域情報化・地域活性化におけるコア・コンピタンスの有効性

吉田博一（大阪府政策企画部）

D-6 有田ミカンにおける市場競争の展開 和歌山県有田地域の「ミカン」販売事業を中心に  
于明傑（摂南大学大学院）

E 評価と実践報告（10:00～11:00） 543 教室

座長：植村唯邦（園田学園女子大学） 清水五男（園田学園女子大学）

E-1 自治体モバイルサイトのユーザビリティ評価と分類

北島数章，針尾大嗣（摂南大学）

E-2 P2P ネットワークにおけるコンテンツ流通に関する定量的研究

平井雄磨，針尾大嗣（摂南大学）

E-3 立命館大学における ES の実践

若杉祥太（立命館大学情報理工学部情報システム学科）

F メディアと教育デザイン（11:00～12:00） 543 教室

座長：寺尾敦（青山学院大学） 小田桐良一（園田学園女子大学）

F-1 学校放送部による映像制作活動の可能性に関する一考察

妹尾克利（北星学園余市高等学校）

F-2 統計学の授業でのセカンドモニタとしての iPhone の使用 教材レイアウト変更の効果

寺尾敦（青山学院大学社会情報学部）

F-3 女子大学生における iPad と紙媒体での読書に関する比較

安田愛美，山崎真穂，加藤尚吾（東京女子大学）

<<一般発表 >>

G 授業実践のデザイン（13:00～15:00） 542 教室

座長：阪井和男（明治大学） 中野彰（武庫川女子大学）

G-1 プレゼンテーションを活用したコミュニケーション授業

稲川孝司（大阪府立東百舌鳥高等学校）

G-2 子どもの情報活用能力を体系的に育成するための情報教育スタンダード（私案）を基にした支援力  
ードの開発

木村明憲（京都市総合教育センター），伊藤剛和（奈良教育大学）

G-3 中学校技術科におけるアクティブラーニングの実践研究(2)

藤本光司（山口大学大学院），葛崎偉（山口大学教育学部），林徳治（立命館大学）

G-4 アメリカにおける日本人の教育事情

- 「ロスアンジェルス、サンフランシスコなどの大規模補習授業校の生徒の現状と現地校での日本語教育」 -

植木進策（宝塚市立御殿山中学校），藤本光司（宝塚市立長尾中学校）

G-5 高等学校数学科授業における形成的評価に関する実証研究

北村光一（滋賀県立瀬田高等学校），林徳治（立命館大学）

G-6 本質を見る目を養う

奥野雅和（京都文教高等学校）

H 学習における認知 (13:00~15:00) 544 教室

座長：斐品正照(東京国際大学) 三池克明(信州短期大学)

H-1 色彩が変化する Web 動画に視聴者が抱く時系列的な認知と印象の変化

斐品正照(東京国際大学), 浅羽修丈(北九州市立大学), 三池克明(信州短期大学)

H-2 体験と結びついた情報と意味形成

清水洋一(東京都公立小学校)

H-3 中学校国語科の詩の朗読場面における時系列的な心情変化グラフの教育活用に関する実践報告

浅羽修丈(北九州市立大学), 斐品正照(東京国際大学), 豊瀬仁須(田川中学校), 三池克明(信州短期大学)

H-4 コード情報と文脈情報におけるコミュニケーション特性

清水洋一(東京都公立小学校)

H-5 Mood が意思決定に与える影響：意思決定タイプを変容させる情報としての感情

後藤晶(明治大学大学院情報コミュニケーション研究科)

H-6 情報リテラシー教育における内言の育成に関する研究

清水洋一(東京都公立小学校)

I ネットワークコミュニケーション(2) (13:00~15:00) 543 教室

座長：中村隆志(新潟大学人文学部) 山本恒(ICT活用教育研究所)

I-1 恋愛ドラマとケータイのコミュニケーション論：90年代後半以降の時代区分

中村隆志(新潟大学人文学部)

I-2 ネットいじめへの対応に関する研究

藤田貴也(鳴門教育大学大学院学校教育研究科)

I-3 防災に関する夫婦間の情報コミュニケーションの現状と課題

- 兵庫県三木市における住民意識調査から -

有馬昌宏(兵庫県立大学応用情報科学研究科)

I-4 e-Learning を活用した外国人のための日本語学習支援コンテンツの制作の成果

~ バリ島の高校生との異文化交流と LMS 活用の相乗効果と実践報告 ~

佐藤万寿美(兵庫県立西宮今津高校), 山本恒(ICT活用教育研究所)

I-5 GPS 位置情報と地図検索を用いた位置把握ツールの試作

小田桐良一(園田学園女子大学)